

学校名 南城市立知念こども園	連絡先 TEL : 098-948-1751 Eメール : chinenkodomom@chinenfukushikai.net
--------------------------	---

1 実践事項 (①または②)

自分の意見や考えを自分の言葉で表現できる子

タイトル：「グループ活動を通して」 (5歳児)

2 実践内容

子どもたちに、自分の意見や考えを自分の言葉で表現できる子になって欲しいという思いから、日頃の保育の中で、みんなの前で話をしたり、グループ活動などを通して自分の意見を言える場をもうけたりしてきた。

グループの話し合いの時には、リーダー格になる子もいれば、自分の意見を言えずに、グループみんなで決めることなども、自ら発言する子だけの意見がとおる、納得がいかないまま決められるが何も言えず嫌な思いをする子もいる。このような子どもの姿を通して自分の意見を言える。また一人ひとりが意見を出し合うことで、「こんな意見もあるんだな」など、自分の考えだけではなく、他の子の意見も受け入れることができる。そしていろんな意見がある中で、みんなで決めていく、みんなが納得がいくまで話し合うことを大切に保育をしている。



お泊り保育に向けて

11月にお泊り保育があり、美ら海水族館へ行き、園でお泊り体験をするということは決まっていたが、グループ分けも子どもたちが決め、リーダーやグループ名も決め、更には美ら海水族

ある程度の一日の流れは保育者が考え、美ら海水族館で何を見るか、どこに行くか、また、夜はどのようなことをして過ごしたいかということクラスで話しあいをした。

美ら海水族館では、クラス全員でイルカショーを見て、お弁当を食べた後3つのグループに分かれ完全にグループ行動になる。各グループでどこを見てまわるか、おやつはいつ食べるかなど、子どもたちが地図を見ながら主導で進めていく。(保育教諭は、安全や提案、時間の確認などをしていく)



クラス全体で話しあった結果、夜はグループごとで楽しいことをしたいということになった。

3つのグループに分かれ、何をするかを話し合う。

『ハリーポッターの劇』『クイズを出す』『ダンス』をすることになった。

その話し合いの中で、子どもたち同士いろいろなやり取りがあった。

ハリーポッターの劇のグループは、セリフをなかなか言えない子に対してイライラし「早く言って」と急かされ、それで泣く子がいたりしてトラブルが絶えなかった。

クイズのグループは、それぞれクイズを考えて出し合うがクイズがかぶってしまいケンカになったり、なかなか決められない子に対して「早くきめて」と文句を言う子もいれば、「一緒に考えるよ」と言って、助けてあげている子もいた。

ダンスのグループは、選曲をし歌う場面と踊る場面を決めたかと思うと「ダンスなのになんで歌を歌うのか」という子もいて、それでも言い合いが長引いた。

話しがまとまるのか気になり、保育者が仲介に入ろうかとも考えたがもう少し自分たちで話し合いをさせてみることにした。

言い合いになる場面も多かったが、それでもお互いの意見を聞き自分の意思を言ったり相手の意見を受け入れたしながら、グループのみんなが納得いく話し合いができた。



園に戻り、晩御飯を食べて、お風呂に入ったあと、みんなの楽しみにしていた各グループの出し物の時間になった。



自分のセリフの番になってもなかなか言えずに、とても時間がかかってしまった子がいた。

それでも、その子のことを急かすことなく、言えるまで励ましたり、応援する姿が見られた。

ハプニングもあったが、どのグループも、それぞれ満足のいく出し物ができたと思う。

成果

日々の保育の中で、人前で話すこと、自分の気持ちや考えを言葉にして言えること、友達同士で話しあって、どうやったらうまくいくのかなど、自分たちで考えていく、意見を出し合うことを大切にしてきた。

ケンカになっても、すぐに保育者が仲介しないようにせず、子どもたち同士で話し合うようにしてきた。その中で、「私はこんなことを言われて嫌な気持ちしたんだよ」など、自分の気持ちを言葉にして伝えられる子が増えてきた。

グループでの話し合いでも、物事がうまくいかなかった時など「なんでうまくいかなかったのか」話し合う場を設けてきた。その中で、「あの時、〇〇だったから失敗したんじゃない?」「次は〇〇したらうまくいくんじゃない?」など、子どもたち同士で、何が原因でこうなってしまったのか、どうしたらうまくいくのかなど、自分なりの思いや意見などを出し合って解決していこうとする姿がみられるようになってきた。

毎回、話し合いがスムーズに行くわけではなく、保育者が仲介に入る事もあるが、そういう手助けや配慮をしていきながら、自分の意見や考えを自分の言葉で表現できる力を身につけていけるように意識して保育をしていきたいと思う。